

今年もよろしく
お願いします

第 246 (25-4) 号 (2026.1)
横浜女子短期大学図書館

図書館報

★…私の好きな小説 Part.2…★

12月号に続いて、みなさんに読んでほしいおすすめの小説を紹介します（今回は2年生からです）。時にはホラーの世界に浸ってみるのもいいですね。また「推し」を支えにすればつらいことも乗り越えられる、そんな姿は自分と重ね合わせることもできますね。寒い日が続く季節だからこそ、暖かい部屋で小説の世界に身をゆだねてみませんか。

…………

『狂気の山脈にて』 (ラヴ・クラフト)

H. A.

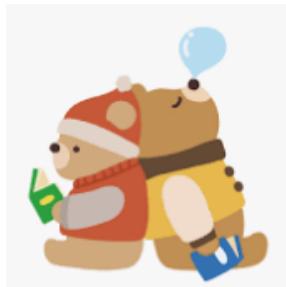
海外の文豪である、ラヴ・クラフトによって書かれた短編小説集です。ジャンルはコズミックホラーやダークホラーに分類され、タイトルにもなっている「狂気の山脈にて」は登山隊を題材にした壮大な物語となっています。

この短編小説集に入っている物語は、作中の静と動がはっきりしていながらも静から動へと緩やかに迫力を持って切り替わるため、話に入り込みやすく、臨場感があるので映画を見ているような感覚になります。ジャンルはホラーになりますが、貞子などのような怖さは一切なく、得体の知れないものに感じる不気味さが中心となっているので、怖いものが苦手な人でも読みやすいと思います。

各物語に怪物が登場します。どの怪物も「未知の領域に達したもの」「この世の理から逸れているもの」「冒涜的な何か」というように表され、怪物に対する明確な描写が限りなく少ないため、読む度に想像力がかき立てられる小説です。

物語を頭の中で映像化しながら読む人は、特に楽しめるのではないかと思います。

(新潮社)



『推し燃ゆ』（宇佐見りん）

S. K.

◆あらすじ

主人公は、「推し」を生きる支えにしている女子高校生のあかり。彼女にとって推しのアイドル上野真幸は好きという感情を超えて、自分がこの世界にいる理由となっている。しかしある日、推しが暴力事件を起こし、炎上する。世間は一気に推しを批判している。また、ファンであるあかりも「なぜそんな人を応援するのか」「普通じゃない」と周囲や社会の正しさにさらされていく。学校生活、家族関係、アルバイトもうまく行かず、心と体が少しづつ壊れていく中でも、あかりは「推しを推すこと」をやめられない。

◆好きな場面

推しが炎上している、日常生活が上手くいっていない中でも、推しを推すことを諦めず、日々頑張っているところ。

◆読んでほしいポイント

推しを推すということは依存ということではなく、生きる上での支えとなっていること。特に推しがいる人は、すごくあかりの気持ちに共感ができ、その状況にショックも受けるけれど、このことだけでなく日々頑張ろう、辛いことも乗り越えて行こうと感じられると思うのでぜひ読んでほしいです！（河出書房新社）



「絵本・ブックトーク」を開きます。

日 時 2026年1月13日（火）15:10～16:10

場 所 図書館 学習室

紹介する本 絵本2冊

好きな絵本1冊にプラスして…

□1年生→子どもの頃に読み聞かせしてもらった懐かしい絵本

□2年生→実習におすすめの絵本

ひとり2冊を用意して紹介してください！

話しを聞くだけでも歓迎です。お待ちしています



ホームページ



メールアドレス

